

統合に必要な視点と検討課題について

- 統合を検討するにあたって、「子どもがどのように育って欲しいと大人は願っているのか」、求める子ども像を挙げた。
 - 1 思いやりのある子・・誰でも人を大事にできる人になって欲しい。
 - 2 正しい判断のできる人に育って欲しい。
 - 3 いろんな経験をしてやさしい子に育って欲しい。
 - 4 社会性・人間性豊かな子に育って欲しい。
 - 5 人はただ一人では生きていけない。多くの人・自然に支えられて生かされて生きている。そのことがよく分かりみんなの幸せを考え続けて成長する子になって欲しい。
 - 6 考えの違う様々な集団の中でお互いを認め合える人間に育って欲しい。

- 上記を実現するため、どんな子どもの環境を求めたいか
 - 1 様々な価値観を持つ人とかかわり、ものの見方・考え方が豊かになるようにある程度の人数でいる学校であること。
 - 2 いろんな人とかかわれたり、係など変わったりして、様々な経験をしやすくするため、統合によりできるだけ複数クラスになるように人数を近づける努力をすること。また、統合で1クラスであっても人数が少しでも多くなっているの、必要に応じていくつかのグループ分けをして、様々な体験をしやすくすること。

- 東西愛宕小の統合の検討課題の解決について
 - 1 東西愛宕小を足しても1クラス30人ということであるが、集団生活には、15人より30人は、かかわる人が多くなる。
 - 2 でも、少ないより多いほうがより多くの人間を知り、たくましい人間関係を作ることができる可能性が大きいので、統合を生かすように人的配置など、必要であれば、統合によって生じた財源の一部をこれにあてられるよう努力していただく。
 - 3 10人くらい学区外から愛宕の学校を希望してくる子どもが現れるように、魅力ある学校づくりに地域・行政をあげて努力すること。
 - 学校の教育活動が充実する地域・保護者の協力体制を確立。
 - 地域の各サークル(太鼓・サッカー・まつりなど)で子どもたちをよりよくまとめる。
 - 子どもの安心・安全・安定のため、地域の人々・保護者でできることを計画し子どもを多くの人々で守る。
 - ◎ できたら、二小地区一部が統合の中に入れたいか、地域の人々の統合という面から検討してみる。

- 今は、政界・経済界は混乱期にあつて将来がどんな世の中になるか予測のつかないときです。

ゆえに、子どもたちは、不透明の時代をたくましく、自分で行き抜ける力をつけておく必要があります。

そうしておくことで、親御さんは、安心して我が子を社会の荒波へ送り込むことができるでしょう。

そこで、生きる力をつけるには、人間形成の基礎を作る小学校時代に多くの人々・多くの自然にかかわって善悪の判断ができるよう感性を磨く必要があります。

いろんな個性の持ち主と多く遊び、学びあうことです。友達が多いほど、ものの見方・考え方が広がり生涯を共にできる友もできやすくなるでしょう。

そのためには、親御さん同士の豊かなかかわりは重要です。親の姿をみて子は育つからです。

そして、その場が学校ということになります。学校が、上記の役割を果たすには、それに見合う環境ができていることが望ましいといえます。

そこで、皆様の意見があるように、東西愛宕小は、統合により、よりよい環境にできるのならこの考え方を適用し、社会性・人間豊かな子どもの育成に全力を注げるべきだと考えます。